



「美術研修」(その55)

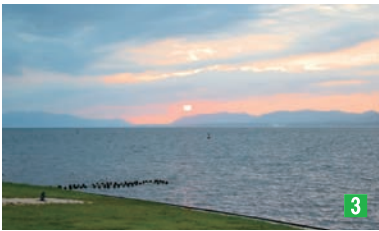
2017年9月20日(水)~21日(木)

ここにしかない アート・風景に出会う 山陰の美術館を訪ねて

初秋の2日間、美術研究家の沼辺信一さんを講師に迎えて山陰の3つの美術館と、博物館を訪れました。



1



3



2



5



4



7



6

- 鳥根県立美術館
- 足立美術館
- 植田正治写真美術館
- 鳥根県立古代出雲歴史博物館

東京から1時間半ほどの米子空港からバスに乗り換え、神々が集う縁結びの地出雲へ。鳥根県立古代出雲歴史博物館では出雲大社と神々のまつり、出雲国風土記、青銅器と金色の太刀というテーマに沿った展示などを見学しました。大量に出土した弥生時代の青銅器や金銀太刀(いずれも国宝)のその美しさと数の多さに圧倒されました。

続いて訪れた鳥根県立美術館では展覧会「福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション 夢の美術館 めぐりあう名画たち」を鑑賞しました。今回は偶然、大規模改修工事による休館の時期が重なり、2つの美術館の名品が「めぐりあう」ことになったそうです。印象派のモネ、ルノワール、ドガからミロ、ダリ、ウォーホルそして、藤田嗣治、草間彌生など国内外の近代美術の巨匠たちの作品を心ゆくまで堪能しました。「日本の夕陽百選」にも選ばれた美術館からの宍道湖の夕日をゆっくりと鑑賞できるよう、閉館時間を日没後30分としていますので、一刻と変わる宍道湖の表情、まさに自然が生み出す芸術作品を日没まで楽しめました。

翌日訪れた安来市の足立美術館では「文化勲章受章の作家たち」展にて横山大観、竹内栖鳳をはじめとする近代日本画の名品を鑑賞しました。「庭園もまた一幅の絵画である」とは、美術館創設者足立全康氏の言葉ですが、その5万坪の庭園も見どころの一つです。アメリカの日本庭園専門誌で14年連続日本一に選ばれているそうです。

鳥取県の国立公園大山のふもとに建つ植田

デジタル一眼レフ カメラ入門 (その4)

2017年8月29日(火)～30日(水)

今回で4回目となる講座は、残暑厳しい鎌倉にて、講義と撮影実習、作品投影と作品講評、懇親夕食会と盛りだくさんな2日間でした。また、中目黒GTギャラリーで開催の参加者作品展は大変好評でした。

「デジタルカメラで写真を撮ることは簡単です。簡単ですが、大変奥が深いものです。今日はいろいろお話していきますが、全てできなくても『これだけはやってみよう』ということを決めて、やってみてください。良い写真は1日に1枚撮れば良い方です。たくさん撮って失敗して覚える、あるいは自分は何が好きなのかを見つけてみてください」との穴吹講師のお話で講座がスタートしました。露出、シャッタースピード、絞り、などの基本について各自でカメラの操作を実際に試してみ確認し、アシスタントの学生3名が会場を回って教えてくれました。



夕食懇親会の後はスクリーン(写真中央)での作品鑑賞会を楽しみました

参加者は2日間それぞれがテーマを持って撮影実習に臨み、2日目の午後は作品をスクリーンに投影しての鑑賞・講評を通して展覧会出品作品を決めました。

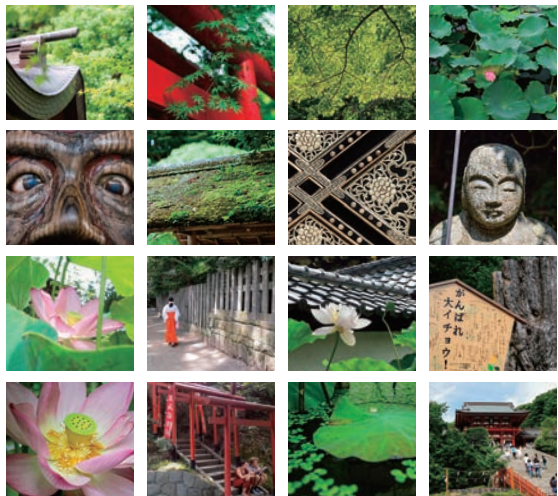
おさえておきたい基礎知識 (講義内容より)

- 思い通りの明るさを出す → 露出補正
 - 躍動感を出す → シャッタースピードを変えてみる
 - 雰囲気伝える → 絞りを試してみる
- ※ 各自でテーマを決めて「露出」「シャッタースピード」「絞り」のいずれかに焦点をあてて撮影実習にのぞみました。

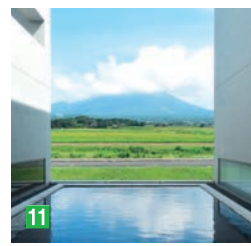
写真展

「わたしの見つけた瞬間」vol.4

2017年10月23日(月)～11月1日(水) 於 中目黒GTギャラリー



1 鳥根県立美術館にて 2 2番目のうさぎを触ると幸せが訪れる? 穴道湖うさぎ (画面左が美術館右奥は穴道湖)
3 穴道湖に沈む夕日の美しさは格別 4 鳥根県立古代出雲歴史博物館では学芸員さんに見どころをお話いただいた
5 いずれも国宝の銅鐸(上)と銅剣(下) 6 8 足立美術館の14年連続日本一の庭園 6 窓が額縁となつて一幅の絵画のように見える庭園 8 枯山水庭(左)と池庭(右) 7 養殖が盛んな安楽ならではのどじょうづくしの昼食 9 植田正治写真美術館 10 美術館前庭で雄大な大山をバックに記念撮影 11 展示棟の間から望む水面には大山が映り込む



正治写真美術館は、鳥取県出身の写真家植田正治の作品を収蔵、展示しています。「リフレイン(繰り返し)」というキーワードで集められた作品からは、時代を越えて繰り返しされる被写体、撮影地、小物、技法などについて作家が追及し続けたものを感じてほしいとのことでした。

研修を指導くださった沼辺延一さんの「美術作品は、残念ですが自然には勝てないと思います。穴道湖の美しい夕日を見るとこっちの方がすごいと思わざるを得ないですね。今回の研修はお天気にも恵まれ、限られた時間を有意義に使えました。次回は春ごろ、日本海側の美術館を回る企画をしています。みなさまお楽しみに」とのお言葉で1泊2日の研修を終えました。